

ホクレン営農支援情報

(2021年12月号)

●帯広農業高校で自動操舵トラクターの実演会を開催《帯広支所 営農支援室》

帯広支所営農支援室では、帯広農業高校と連携した活動として、ホクレン RTK システムを利用した自動操舵トラクターの実演会を10月27日、昨年に引き続き開催しました。(農業科学科、酪農科学科併せて延べ120名が参加)

GPS ガイダンスと自動操舵補助装置を搭載した大型トラクターのキャビンに同乗し、直進と旋回の操作を自動化した圃場管理作業(大型けん引ディスクハロー)を体験しました。

参加した高校生からは、「オペレーターはほとんど操作していなかった。作業がとても楽そうに感じた。」と驚きの声が上がっていました。



●草地の排水性改善に向け、カットドレーン施工《稚内支所 営農支援室》

稚内支所営農支援室では、草地の排水性改善への効果を確認するため、10月22日に管内3カ所でカットドレーン(穿孔暗きょ機)施工を行いました。降雨などで滞水しやすい草地への対策は管内でも課題となっており、生産者自ら施工できるカットドレーンに期待が寄せられています。

施工にはJA、普及センター、道総研など地域の関係機関が集まり、効果が上がるよう施工箇所や経路など慎重に検討して実施しました。今後も引き続き効果検証を続けていきます。



カットドレーン施工の様子



カットドレーン施工後の草地

● 試験栽培されたさつまいもの貯蔵試験への取り組み 《食品流通研究課》

食品流通研究課では、苫小牧支所営農支援室と連携し、JA 伊達市で今年から試験栽培を始めた、さつまいも 3 品種の貯蔵試験を行っています。さつまいもは収穫後、傷からの腐敗などを防ぐため、30℃、湿度 90%以上で数日保管するキュアリング処理が欠かせません。キュアリングを生産者のハウスで簡易的に処理した場合と、施設で処理した場合との比較や、貯蔵中の成分や食味の変化について分析を行います。

さつまいもの貯蔵方法検討は、2 年前から道総研とも協力して進めており、道内での今後の産地化も見据え、課題や方向性が見出せるよう取り組んでいきます。



キュアリング処理調査（左）と貯蔵試験（右）設置の様子

●アグリポート VOL.34 を発刊《営農支援推進課》

12月1日にアグリポート VOL.34 を発刊しました。今回の特集は「進化する除草」です。

負担が大きい除草作業を、いかに労力をかけず効果的にできるか、除草剤の使い方やカルチ除草のポイントなど、技術の進化も含めて紹介しています。

そのほか、北海道農協青年部協議会役員の対談や労務管理に欠かせない「人を雇うための契約と規則」、道産品のカタチでは「白い恋人」を掲載するなど、さまざまな情報を盛り込んでいます。ぜひご覧ください。



●来年の営農に向けたトラクター整備に役立つツール《営農支援推進課》

今年の作業が一段落すると、来年に向けた準備が始まります。トラクターもしっかり整備して、来年の営農に備えたいものです。アグリポート VOL.21 特集「トラクター整備入門」では、トラブルを未然に防ぎ、長く使うための整備のポイントを、それぞれの作業ごとに動画を交えて紹介しています。参考にしてみてください。

バックナンバー アグリポート VOL.21

特集「トラクター整備入門」

- セルフメンテナンスはコストダウンに直結！
- トラクターを自分で整備する時のポイント
- 知っておきたいトラクター整備の基本
- 注目の整備グッズ&オイル



<https://www.hokuren.or.jp/kouho/ap/backnumber/21.pdf#page=4>



※動画は、YouTubeの「ホクレンアグリポートチャンネル」でも公開しています。

ホクレンの営農情報誌「アグリポート」

なるほど!

明日に役立つ、“わかる” 営農情報を掲載!



アグリポート
ホームページ



YouTube
チャンネル



YouTubeはGoogle LLCの商標です

発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp